



たいしも通信

みなさま、新年あけましておめでと〜ございます。

とはいうものの、元日には甚大な災害が発生し、個人的理由から、少しもめでたくないぞ、とお考えの方もあるとは思いますが。しかし、とりあえず今この時にも任務に就いておられる現職自衛官の方々に思いを馳せ、まずは感謝申し上げます。

ところで、皆様ご覧の、この「たいしも通信」は、令和2年10月に、『新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として様々な行事、会合等が中止になることに加え、そもそも人と会うこと自体が制限され(中略)、不安で戸惑うばかりの状況から下関支部長として自身の勉強も兼ね、関連情報を引つ張って来て、改めて書き記す』という主旨で始まり、今回で40号を迎えました。当初は自分が市役所防災課にいたこともあり、公務を通じて現職の方々や接する機会も多かったのですが、後任に職を譲った後はどうやって繋いでいこう、と不安に思っていたところ、意外とその後も引き続き現職の方々や接し、お話を聞くことができいております。今後は下関支部会員の皆様へも各種イベントを含めた情報提供を行ってきたいと考えております。また、「たいしも通信」につきましては配布以外に山口県隊友会のホームページにおいて、一部のバックナンバーも含めて閲覧することができますのでご利用下さい。

さて、本来なら下関戦跡シリーズということですが、今回は元旦に発生した災害について、防衛大臣記者会見を引用して自衛隊の初動対応状況について確認してみたいと思います。

◆令和6年1月1日「令和6年能登半島地震」発生後の木原防衛大臣臨時会見(抜粋)

本日16時10分頃、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.4、最大震度7の非常に強い地震が発生。本日発出の内閣総理大臣指示事項を踏まえ、16時17分に防衛大臣から、甚大な被害発生を念頭に、『陸海空自衛隊が緊密に連携し、人命救助を第一義とした活動の実施』『早急に本地震による被害状況を把握できるように関係府省庁及び自治体と緊密に連携、情報収集に努めるとともに、あらゆる手段を活用した情報収集活動を実施』を指示。既に自衛隊は石川、富山、そして福井の各県庁に連絡員を派遣、自治体とも密接に連携するとともに、航空機による上空からの情報収集を現在も実施中。詳細としては、18時20分現在、金沢の14連隊のファストフォースが珠洲と輪島で既に活動中。さらに陸海空の航空機約20機が情報収集活動実施中。それ以外では10師団にもファストフォース部隊があり、鯖江と富山の施設部隊等合計1,000名が現在派遣準備中。加えて今回の中心となる中方500名もまた同様に待機中。近隣ではレーダーサイトがある輪島分屯地⁸に周辺住民約1,000名が避難中であり、その方々に対し毛布・水・食料などを配布し、追加の配布についても現在調整中である。

▼編集後記▲

相変わらず世間では遅いの少ないのという声も無い事は無いようですが、自分が六本木時代に阪神淡路で感じたもどかしさはなく、よくぞここまで初動対応できるようになったと、偉そうに上から目線で見守っております。しかし、ここに至るまでには諸先輩方の一方ならぬ苦勞があったことも忘れてはなりません。また避難者の基地収容などの歴史の変革も忘れてはいけませんね。例によって、内容に関する責任は全て支部長にあり、特に規則等に定めてあるもの以外は私の個人的見解が色濃く反映されていますので、ご意見等ございましたら遠慮なくお知らせ下さい。